

〔優秀賞〕

◇ 題名 男らしさ女らしさ ◇

出流原小学校 6年 中西 綾人

ぼくは、男女共同参画について調べることになりました。男女共同参画とは、男だから女だからという役割を決めつけずに、お互いに人権を理解しあいながら性別に関わりなく仕事や家庭生活などさまざまな活動においての個性と能力を自分なりに発揮することだとわかりました。特に参画とは、単に参加するだけでなく自ら進んで責任をもって関わることをいうのだと知りました。

ぼくは、身近にどんな男女共同参画の例があるかを考えてみました。まず考えたのは、家事や育児はお母さん、仕事はお父さんがしているというイメージが一般的に多いのではないかということです。でもそれが絶対とは限りません。世の中には、お母さんが仕事をしてお父さんが家事育児をする家庭もあります。今は、いろいろな働き方があるのだと知りました。ぼくの中にあるイメージとは違って男だから女だからというのはなくなってきているのだと気が付きました。人それぞれに得意分野は違います。家事も育児も仕事も男女で区別するのではなく、みんなでやることが共に生活していくうえで大事なことだと思いました。

ぼく自身、洋服を選ぶときに、男の子っぽい色やデザインの洋服を選んでしまうことがあります。靴も選ぶときには、紫色だと女の子っぽいと思って男の子っぽい色のイメージがある黒や青を選んでしまいます。男女関係ないとわかっているのに、気にしてしまうのはなぜだろうと思うこともあります。

この男女共同参画について調べていてわかったことがあります。それは、好きなこと、得意なことに男だから、女だから関係ないということです。その人自身の選択がその人らしさなのではないかということです。だから、男の子、女の子という枠組みで区切るのではなく、自分で好きな選択をしていきたいなと思いました。洋服を選ぶときも、靴を選ぶときも、男の子っぽいのはこれだなという選び方ではなく、ぼくはこれが好きだからこれを選んだのだと胸を張って言えるようにしたいです。また、自分の得意を伸ばして、男女共に助け合える世の中になるよう行動していきたいと思います。きっと一人の行動だけでは世界は変えられないと思いますが、一人ずつ変わっていけば大きく変わっていくと思います。ただ参加するだけではなく、責任をもって参加できる大人になれるように自分の選択に自信をもって行動できるようにしたいです。自分が大人になったころには、きっと男女共同参画の世界がより広がっていくと思います。自分もその一人となれるよう行動していきたいです。